

# あおば

発行: おぐに荘保護者会

新潟県長岡市小国町新町 852-4

救護施設 おぐに荘

TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

ホームページ <https://www.kashikari-fukushi.com>

第41号



# SAFETY NET



# 保護者会より

## 保護者会の皆様へ



保護者会 会長  
伊丹 文男

保護者会の皆様におかれましては、日頃ご協力をいただきお礼申し上げます。

例年の保護者会総会は、花見と一緒ににぎやかに実施いたしました。今年度の総会は昨年に続き中止になりました。おぐに荘も総会開催にあたり検討いたしました。新型コロナウイルス発生のため、中止になりました。

コロナが発生してから、二年が経過しその間、施設内ではマスク着用、手洗・うがい、消毒励行により感染を防ぐことができました。とはいえ、入所者の皆様は施設内で過ごされ、大変なストレスだったと思います。

おぐに荘では、施設内の活動を入所者と職員の皆様で従来通り行ない、少しでも生活に変化がでるように工夫し実施していただいています。なかでも保護者会の活動は、保護者の皆様から多くの参加もあり、いつものおぐに荘とは違う雰囲気を楽しみにしていました。私達の生活は、おいしいもの食べ

ること、歌ったり踊ったりして発表すること、健康でいられることなどが生活の楽しみになります。またそれがストレスのはけ口にもなります。

おぐに荘では、ようやく長い冬が終わり、施設内で花苗を植えたり、野菜づくり、散歩など屋外に出る機会が増えました。また施設内では、サークル活動で絵や書道、カラオケ、スポーツ大会など発表の場を通して気分転換にしたいと思います。

今後もう少し新型コロナウイルスで活動自粛が続くかもしれませんが、職員の皆様には入所者の皆様の高齢もあり、健康面には気を付けていただきますよう今後ともよろしくお願いいたします。

また保護者会の皆様には、今年の活動が実施見合わせになりますが、新型コロナウイルスの状況を見て連絡いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。



# 理事長挨拶

## 『恕の心を持って』



理事長  
政金 克芳

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長の政金です。

おぐに荘保護者会及び関係者の皆様には、日頃からおぐに荘の運営に多大なる御理解、御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

私事ではありますが、昨年の六月に当法人の理事長に就任させていただきました。これから、一年が経過いたしました。この間、多くの皆様から御指導・御支援をいただき、改めて御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染が初めて日本で確認されたから二年半が経過しましたが、残念ながら依然として収束の目途が立っていない状況です。このため、おぐに荘をはじめ当法人が運営する全ての施設において、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しています。このことにより、利用者の方々の生活や各種行事、保護者会の活動などに一定の制限をかけており、大変申し訳なく思っ

ておりますが、もうしばらく御辛抱いただきましたようお願いいたします。

この世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活は大きく変化し、その流れは今後も益々加速していくでしょう。そのため、コロナ禍が一定の収束を迎えても、生活様式や働き方など、あらゆる行動を時勢に合わせてアップデートしていく「ニューノーマル」という動きが重要だと思っております。そのことを念頭に置きながら法人運営に努力してまいります。

また、このように急速に変化する時代の流れであっても忘れてはならないのは、相手の身になって考える優しさや思いやりの心、いわゆる『恕の心』です。当法人は、職員全員がこの『恕の心』を持ちながら、利用者の方々の人格と尊厳を守り、安心安全な生活と良質なサービス提供に努めてまいります。

末筆ではありますが、おぐに荘保護者会の御発展を御祈念申し上げますとともに、引き続き、おぐに荘の運営に御理解、御協力をお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



# 施設長挨拶

## 新年度を迎えて



施設長  
遠藤 和哉

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、日頃よりおぐに荘の運営にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

今年度の保護者会総会については、新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少傾向にありますが、収束への見通しが立ってはいないことから、中止にさせていただきました。これからも、利用者の皆様からも協力してもらいながら、感染症対策にお一層努めていくことしております。

さて、今年度から、おぐに荘の定員を七十名から六十名に変更いたしました。利用者の高齢化・重度化による退所者の増加や、コロナ禍による影響などから、今回の手続きを行うことになりました。このような状況ではあります。施設での行事・活動に関して、感染症対策に配慮しながら活動の幅を広げていくことしております。

今年度の取り組みとして、いくつか紹介させていただきたいと思っております。

まず、高齢化・重度化への対応です。このことにつきましては、医療面での情報共有と連携の強化を図ることにより、健康管理と疾患を持つている方への支援の更なる充実を図ることとしております。また、このような現状を踏まえた、日課・活動の見直しの継続や安心・安全の確保に取り組みます。

次に、感染症対策につきましては、感染対策委員会を中心に、引き続き感染対策に取り組むとともに、研修や訓練の充実により、適切に対応できるよう行っています。

また、定員の減少や老朽化を踏まえて、法人救護施設の事業の方向性を検討することとしています。

その他にも、利用者満足度やサービスの質の向上等の取り組みを更に進めることとしています。

今年度も、保護者の皆様をはじめ、関係機関の皆様、よろしくお願いいたします。



## 令和3年度

### 保護者会活動内容

- 保護者会総会、花見会  
(実施見合わせ、書面決議)
- 保護者会協力活動 (実施見合わせ)
- ふれあいまつり (実施見合わせ)
- 保護者会理事会  
(実施見合わせ、書面決議)
- 会計監査 (令和4年4月8日実施)

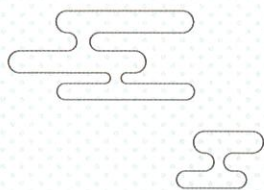
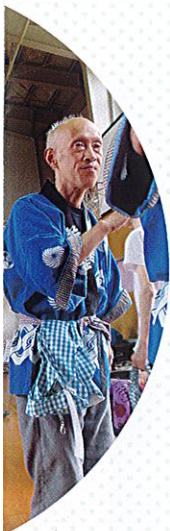




# 1ナ禍での活動



おぐに荘では、1ヶ月に1回程の頻度で行事を企画して行っており、利用者は、それらをととても楽しみにされています。新型コロナウイルス感染症の流行後は、感染を防止するために、多くの行事の実施方法をそれまでのやり方から変更する必要性がありました。今回は、そのうちの一部をご紹介します。



## 旅行の代替イベント

旅行は利用者に特に人気のある行事です。令和3年度は市内での日帰り旅行を予定していましたが、感染の再拡大で実施が難しく、近隣地域へのドライブと施設内のできる体験活動を組み合わせたイベントに変更して楽しんでいただきました。

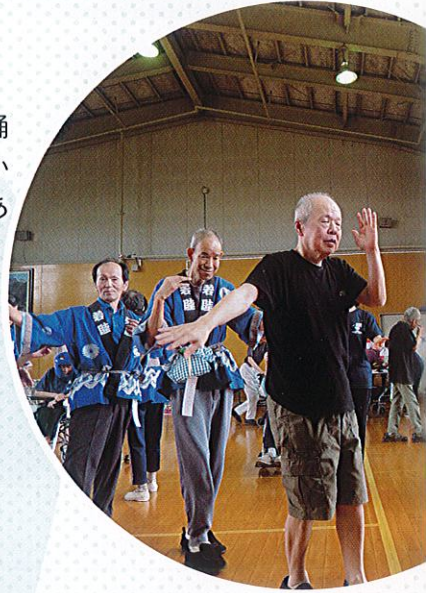




# おぐに荘のコロ

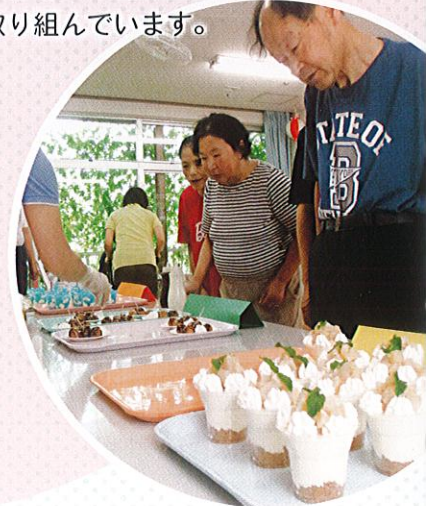
## おぐに荘夏祭り

以前は地域の皆様との交流も目的として「盆踊り」を盛大に行っていましたが、令和2年度からは感染予防のために地域の皆様と直接触れあう交流が難しくなり、「夏祭り」として、利用者と職員でゲームや踊りを楽しんでいます。



## 食のイベント

食のイベントは令和元年度から行われている利用者に大人気の行事です。施設内で楽しめる行事であるため、食を通じて季節を感じていただけるように、新型コロナウイルス感染症が流行後はさらに力を入れて取り組んでいます。





# 地域貢献活動

## グリーンカーテン

大きいのが採れたね〜♪



立派なゴーヤがたくさん採れました。

by  
ゴーヤ隊

おぐに荘、夏の風物詩のゴーヤのグリーンカーテン。利用者が毎日の水やりや、草取りを行い、一生懸命育ててくれ、立派なゴーヤが沢山採れました。採れたゴーヤは調理員がチャンプルーや、佃煮などに調理をしてくれ、みんなで美味しくいただきました。今年も素敵なグリーンカーテンに沢山の立派なゴーヤができるのが楽しみです。

## かかしまつり



かかしと一緒に記念撮影！  
外の空気は気持ちいいな。

毎年8月に小国のせせらぎ公園で開催されている『かかしまつり』。新型コロナウイルスの影響により、利用者の外出の機会が減っている中、かかしまつりの見学は貴重な思い出となりました。今年もおぐに荘は、かかしまつりに出展する予定です。利用者と一緒に計画を練っており、意気込みも充分です。今年はどうなかかしが出来上がるのか楽しみに!!



ボクたちOGN40♪  
サイコー!!

## 清掃活動



皆さん喜んでくれるかな〜



熊手を持って  
よいしょ！よいしょ！



お掃除♪  
お掃除♪

毎年恒例、地域貢献活動の一つとして行っている清掃活動。新型コロナウイルスの影響で、ここ数年は施設周辺の道路掃除のみとなっています。地域の皆様が気持ちよく道路を利用して頂けるように、利用者は懸命に掃き掃除を行ってくれました。感染症拡大防止の為に地域の皆様との直接的な交流が減っていますが、利用者は少しでも地域の方のお役に立ちたいと思い、活動を行っております。





# 新任職員 紹介

## 質問 項目

今年度は6名の職員がおぐに荘のスタッフに加わりました。  
5つの質問でご紹介します。

- ① あなたの趣味・特技を教えてください。
- ② 子どもの頃の夢は？
- ③ あなたが尊敬する人を教えてください。
- ④ もしも、どんな願いも1つだけ叶えてくれる魔法があったら何を願いますか？
- ⑤ 最後に、この会報を見ている皆さんへ一言お願いします。



【事務員】品田辰雄

- ① バイクが好きで、乗り続けています。
- ② 飛行機のパイロットになること。
- ③ 亡き父
- ④ 永遠の若さですかね。
- ⑤ 皆さんが安心して生活できるようお手伝いさせていただきたいと思えます。よろしくお願いします。



【主任生活指導員】井部晃典

- ① 趣味は運動で、特にマラソンが好きです。
- ② 消防士
- ③ 両親
- ④ 目がとても悪いので、視力を回復してほしいです。
- ⑤ おぐに荘には平成15~16年の2年間勤めていました。ご縁があって、またお世話になることになりました。よろしくお願い致します。



【主事】有坂栄理子

- ① 趣味を探し続けています。特技はチビッ子にモテること。
- ② 小学校の先生になること。郷ひろみと結婚するのは自分だと思込んでました。
- ③ コロナのお薬を作る人(期待を込めて!!)
- ④ 何回でも魔法が使えますように!! (美人に、スリムに、モテモテに...)
- ⑤ 大型新人ですが、どうぞよろしくお願いします



【介護員】宮崎悠紀

- ① 釣り  
最近キャンプを始めました。あまり行けてません。
- ② ウルトラマンの怪獣
- ③ 親
- ④ おぐに荘を高級ホテルのような豪華な施設にしたいです。
- ⑤ 色々ご迷惑お掛けするかと思いますが、元氣良く頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。



【管理栄養士】野村朱里

- ① 趣味:韓国ドラマ鑑賞  
特技:餃子作り
- ② パン屋さん
- ③ 祖母
- ④ どこでもドアをもらう
- ⑤ 社会人になって1ヶ月が経ちました。まだまだ分からないことが多いですが、皆さんのお役に立てるよう頑張っていきます。これからよろしくお願いします。



【調理員】富樫一美

- ① 趣味:映画鑑賞、日帰りバス旅行  
特技:動物の表情でストーリーが作れる。
- ② 美容師
- ③ 特定の方はいませんが、一生懸命働いている方、努力をしている方
- ④ 世界平和(子供達が泣かないで笑って暮らせる様な世の中)
- ⑤ 4月からおぐに荘に異動になりました。雪の降る頃の小国地域はわかりませんが、交通安全に気を付けて車の運転をしたいと思えますので、よろしくお願い致します。

## 転出 職員

- 介護施設かしわ荘
- ・山本 浩宣 (生活指導係長)
  - 特別養護老人ホームむつみ荘
  - ・小俣 忠一 (介護員)
  - 特別養護老人ホームむつみ荘
  - ・下條 照一 (調理員)
  - 特別養護老人ホームなごみ荘
  - ・須田 杏菜 (栄養士)

## 退職 職員

- ・億 節子 (主事)

## 社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会



- 経営理念 私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全の福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。
- 基本方針
- ① 入所者・利用者の人格と尊厳を守り、安心・安全な生活と良質なサービスの提供に努めます。
  - ② 透明性を確保し、健全経営に努めます。
  - ③ 福祉人材を育成し、働きやすく魅力ある職場づくりに努めます。
  - ④ 福祉のセーフティネットとしての役割を果たし、社会的弱者の支援に努めます。
  - ⑤ 福祉文化の創造を目指して地域・社会に貢献します。







小国町商工会様  
佐藤博孝様  
おぐに荘保護者会  
久保光枝様  
櫻井順子様

寄贈者一覧

小国理容組合様  
小国中学校様  
入沢和文様

ボランティア

皆様の善意に  
感謝します  
順不同

ボランティア募集の一部再開のお知らせ

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアの募集を一時中断していましたが、募集を一部再開いたします。屋外での活動、利用者様と接しない活動となりますが、興味のある方はご連絡ください。

連絡：救護施設おぐに荘  
TEL 0258-95-3400

編集後記

新型コロナウイルスが流行してから2年以上が経ちました。世間では徐々に以前の生活が戻り始めている中でも、私たち社会福祉施設においては、辛抱が続いています。そんな中でも、昨年度は、コロナ禍でも楽しめる行事や活動の形を模索し、実施しました。まだまだ色々な活動を盛大に行う事は出来ませんが、これからも利用者の楽しめる行事や、保護者の皆様と交流できる機会を模索していきたいと思っております。



車椅子貸出

柏崎刈羽福祉事業協会では、地域の皆様やご家族の皆様へ車椅子の無料貸し出しを行っています。貸し出しをご希望される方、詳細を知りたい方は、おぐに荘までご連絡ください。



苦情相談について

救護施設おぐに荘では提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。ご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく苦情受け付け担当者、第三者委員にご相談ください。誠意をもって話し合いを行い解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 松井 夏子 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員  
小野塚正之 電話 0257-24-0469  
宮田知津子 電話 0257-24-5522  
砂塚 一美 電話 0257-27-3159

- 苦情相談の申し出  
苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。  
また、電話、書面、面談でも受け付けます。  
電話 0258-95-3400

苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては十分に配慮いたします。